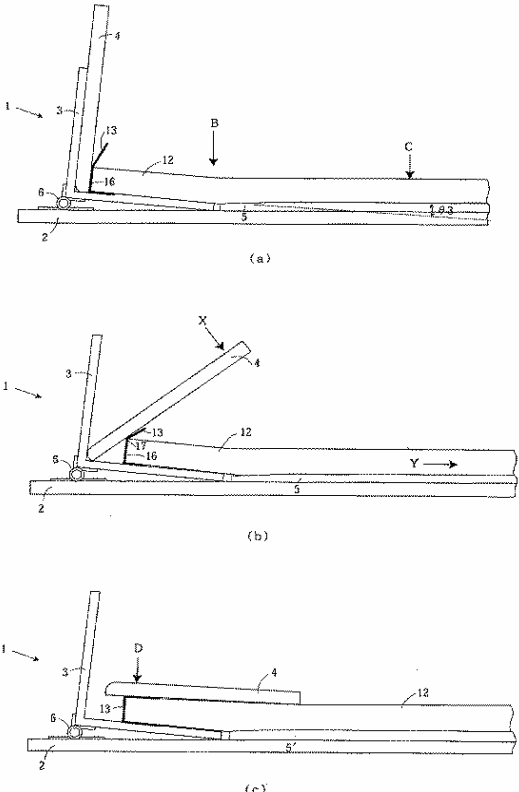


ライセンス情報

[特許内容]

整理番号: HR02002

出願番号	特願2003-150948	出願日	平成15年5月28日	特許番号	特許第3635084号
タイトル	製本装置(クロス・マーブル巻き器)				
技術分野	伝票、領収書、様式等を製本するとき、クロス・マーブルを貼る作業がある。クロス・マーブル貼り機という自動機があるが、高額な設備を要するため、少量の生産には手間をかけ貼っていた。ねじれ、ゆがみ等が生じるため、時間をかけ熟練を要した。				
目的	手作業で、L型鋼・平板の材料で、平行と角度、てこを利用して「ねじれ」「ゆがみ」「たわみ」も無く、垂直に折り、簡単にきれいに貼ることが出来ます。(例:L型鋼 450cmでA3縦から以下サイズ貼れます)				
効果	作業台、卓上等で簡単に貼れ、L型鋼の材料の大きさにより、小さいもの～全紙サイズも貼れます。手作業で簡単にいつでもでき、生産高の小さい所では高額な機械、設置場所等が不要となりました。(参考:印刷所、学校、事務所、建設設計)				
技術概要	 <p>本発明は、冊子等の背部にクロスを巻き付ける製本装置に係わり、特に、取扱いが簡単でコンパクトでありなおかつ安価な製本装置に関する。</p> <p>冊子12の背部の2箇所角部は、L型背巻き板3と押圧板4が成す直角部分の利用と、冊子12の厚さにかかわらず押圧板4がクロス13に対して平行に滑らかに摺動することによってクロス13を貼着するので、仕上がり状態が良好となる。押圧板4は、最初はL型背巻き板3上に配置された時点でL型背巻き板3の下面と直角部分を形成して、第1の角部15におけるクロス13の貼着を可能とし、次に押圧板4の角部を支点にしてL型背巻き板3の立面を丸み10を利用して平行に摺動し倒しきった時点で今度は自身の下面で冊子12の表紙の上面に密着して第2の角部17におけるクロス13の貼着を可能とする。従って、押圧板4はL型背巻き板3と対を成すことでクロスを張って製本するという作用に対して重要な構成要素であると同時に、L型背巻き板3に対して固定されたり複雑な形状を備えるものでもなく、製本装置1の構造を簡単にするという観点からも重要な構成要素となっている。</p>				

[登録者情報・連絡先]

氏名	堀田 英雄
住所	山口県山口市大字矢原1087-2
TEL/FAX	
E mail	
コメント	お問い合わせの際には、弊所(下記のお問い合わせ先)までご連絡いただけますようお願い申し上げます。
実施実績	(有) 試作・無 許諾実績 有・(無) 権利譲渡(可)・否 実施許諾(可)・否
希望ロイヤルティ	権利譲渡に関しては応相談、実施許諾に関しては、販売価格の10%。



[お問い合わせ先]

アイピードリブンコンサルティング株式会社
 代表取締役 弁理士 井上 浩 (担当:南瀬 透)
 〒753-0077 山口県山口市熊野町1-10 NPYビル1F
 TEL:083-901-2260 FAX:083-901-2266
<http://www.ipdriven.co.jp/> e-mail: minase@ipdriven.co.jp